

外耳道に寄生したフタトゲチマダニ例

中尾 芳雄

JA 吉田総合病院 耳鼻咽喉科

外耳道異物は耳鼻咽喉科外来診療において、しばしば遭遇する疾患であるが、外耳道に寄生したマダニの報告例は少ない。この度、左外耳道から飽血状態で摘出されたフタトゲチマダニの1例を経験したので報告する。症例は、72歳女性。2週間前からカサカサという左耳鳴を認め、当科を受診した。顕微鏡下に左外耳道を観察したところ、鼓膜付近に虫体とその足が動いていることを確認した。虫体の口器が外耳道皮膚に咬着していないことが確認できたので、耳垢鉗子で虫体を摘出した。

左外耳道後壁に軽度の発赤を認めた。フタトゲチマダニはリケッチア感染症の媒体が疑われるため、虫体の摘出後はミノサイクリン200mg/日を投与し、経過観察を行ったが二次感染は認めなかった。